

ファーストコンタクト強化事業（NPO法人岐阜空き家・相続共生ネット）

課題と目的	①市町村の空き家担当職員には、建築、不動産、相続、税務など様々な専門知識や経験が求められるが、数年で職員の異動があるため、経験豊かな職員が専門的な相談に乗るのが困難。 ②入れ替わりの激しい市町村空き家担当職員に対して早期の空き家相談基礎能力向上を図り、相談者とのファーストコンタクトの質を高めることが必要。
取組内容	①NPOの空き家相談士を行政窓口配置し、行政職員とバディを組んで空き家相談を実施。 ②県内市町村空き家担当職員へのファーストコンタクトのスキル強化のための研修会を実施。
成果	①バディ制度の結果、よりスピーディーな問題解決、専門相談、継続支援が可能になった。 ②初任者でもわかりやすいファーストコンタクト用の問診票、継続支援用のフォローシートを作成。相談時に参考にできる用語や事例解説などのコンパクトな空き家相談サブテキストを作成。

【取組内容の概要】

①空き家相談バディ事業



②行政版空き家相談士育成事業



空き家相談、空き家問題の早期解決